

## AXIS GALLERY

### 次世代のデザインを担うのは誰だ？ 全国からデザイナーの「金の卵」たちが集結 10年目の「金の卵」展

アクシスギャラリー企画

#### 「第10回 金の卵 オールスター デザイン ショーケース」開催のお知らせ

テーマ：「Back to the Future —未来のために、いま過去に学ぶ」

デザインの未来を担う「金の卵」を一堂に紹介し、学生と社会を結びつける場となる本展は、今年で10回目を迎えます。これまでの出品者は約500名、ポートフォリオ参加者は、約1600名にのぼり、巣立った卵たちは、それぞれの領域で活躍しています。

今回のテーマでは、いったん過去に立ち返り、先人たちの経験や考え方、手業などの優れた遺産を改めて知った上で、これからのデザインがどうあるべきか、何をすべきかを考えます。

展示されるのは、各大学から選抜または公募で選ばれたデザイン系学部3年生（一部、大学院生）の作品。併せて、デザインによる社会変革を目指し、海外の大学や機関との共同研究を推し進める京都工芸繊維大学KYOTO Design Labや自家生成されたバイオ素材による衣服の可能性を探求するプロジェクトについても展示します。海外からは、クリエイティブなアイデアと高度なエンジニアリング技術を融合し、発明的とも言える数々の製品を世に送り出しているロイヤル・カレッジ・オブ・アートのイノベーション デザイン エンジニアリング学科が参加、その成果と共にアイデア創出から製品に至る方法論などについても紹介する予定です。

展覧会という発表の場が、これから社会にはばたこうとする「金の卵」たちの励みとなり、さらにはデザイン界のレベルアップに貢献できれば幸いです。

ぜひ、貴媒体にてご紹介いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

\*人気のポートフォリオコーナーでは、約110名（予定）の金の卵たちの日頃の成果をご覧ください。  
また、会期中行われるプレゼンテーションにもぜひご参加ください。皆様の叱咤激励をお待ちしております。

アクシスギャラリー

---

#### 展覧会概要：

- 展覧会名称：第10回 金の卵 オールスター デザイン ショーケース
- 日時：2015年8月27日（木）～9月6日（日）11日間 11：00-20：00（最終日は17：00まで）
- 会場：アクシスギャラリー（東京都港区六本木5-17-1 アクシスビル4F）
- 入場料：無料
- 主催／企画：アクシスギャラリー
- 出品学生によるプレゼンテーション（会場：シンポジア、アクシスビル地下1F）：  
・8月29日（土）14：00～/9月1日（火）18：30～/9月4日（金）18：30～
- 読者お問い合わせ先：Tel.:03-5575-8655 E-mail:gallery@axisinc.co.jp  
www.axisinc.co.jp

\*これまでに出品した金の卵OBたちのその後の活躍、会期中のイベント詳細については、www.axisjiku.com  
をご覧ください。

■本件に関するお問い合わせ：アクシス佐野恵子

Tel.:03-5575-8391、Fax:03-3583-0199 E-mail:sano@axisinc.co.jp

□参加校：

愛知県立芸術大学／大分県立芸術文化短期大学／岡山県立大学／京都工芸繊維大学／京都造形芸術大学／慶應義塾大学／札幌市立大学／静岡文化芸術大学／情報科学芸術大学院大学／女子美術大学／筑波大学／東京造形大学／東北芸術工科大学／富山大学／長岡造形大学／名古屋芸術大学／名古屋工業大学／名古屋市立大学／日本大学／武蔵野美術大学／明治大学／ロイヤル・カレッジ・オブ・アート&インペリアル・カレッジ・ロンドン

□主催：アクシスギャラリー

□協賛：

コクヨファニチャー株式会社、コニカミノルタ株式会社、株式会社島津製作所、株式会社東芝、日産自動車株式会社  
日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社、富士通デザイン株式会社、株式会社本田技術研究所、三井ホーム株式会社

□協力：

公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、株式会社エルトキオ、株式会社 光伸ブランニング、株式会社トゥールズインターナショナル、吉川紙商事株式会社 他

□後援：公益財団法人日本デザイン振興会

■本展ポスター：

公募で選ばれた奥 将也（阿佐ヶ谷美術専門学校 イメージクリエイション科3年）によるメインビジュアルを  
もとに、本展グラフィックデザイナーの小泉 均氏（TypeShop\_g）がポスターをデザインした。



■展示予定の主な作品:

●RCA IDE学科

ロイヤル・カレッジ・オブ・アート(RCA)のイノベーション デザイン エンジニアリング(IDE)学科では、独自の метод論により、クリエイティブなアイデアと高度なエンジニアリング技術を融合させ、発明的とも言える多くの製品を世に送り出している。その成果(14作品)と共にアイデア創出から製品に至る方法論などについても紹介する。



木材や石などの固い素材を手の感覚を保ちながら成形できる「パワーグローブ」。職人や彫刻家、モデラーといった手業を持つ人々の協力のもと、制作された。



“Morph”は、たたむことができる車椅子用のタイヤ。小型車にも積み込め、飛行機内の収納スペースにも入れることができる。

●自家生成によるバイオ素材を用いた未来の衣服プロジェクト

生物の力によって素材すらも自らつくり出すバイオ・ハッキングという新しいアクティビティと、伝統な洋裁技術を組み合わせ、未来の服づくりを試みる、慶應義塾大学の川崎和也によるプロジェクト。



## ■会期中のイベント

どなたでもご参加いただけます。当日、会場まで直接お越しください(入場無料)。

なお、定員が超えた場合は入場できないこともありますので、ご了承ください。

### □出品学生によるプレゼンテーション 会場:シンポジア(アクシスビルB1F)

1. 8月29日(土)14:00~
2. 9月1日(火)18:30~
3. 9月4日(金)18:30~



### □関連トークイベント 会場:シンポジア(アクシスビルB1F)

テーマ:「イノベーション・エッジ —RCA IDE学科の成果とそのアプローチ方法」

スピーカー:Miles Pennington (RCA IDE学科長)

8月28日(金)18:30-19:30

会場:シンポジア(アクシスビル地下1F)

\*会期中のイベント詳細については、[www.axisjiku.com](http://www.axisjiku.com) をご覧ください。

